

# 普通会計決算の概要

## 1 調査団体数

平成19年度財政状況調査の対象となった普通会計団体数は次のとおりである。

市	町	村	一部事務組合	調査団対数
19	25	37	64	145

## 2 決算規模

平成19年度の調査団体の普通会計決算額は次のとおりである。

(単位:百万円、%)

区 分	平成19年度(A)	平成18年度(B)	(A)/(B)×100
歳 入	989,117	985,259	100.4
歳 出	958,610	953,574	100.5
差 引	30,507	31,685	96.3

## 3 収支の状況

### (1) 実質収支

ア 平成19年度の調査団体の普通会計の形式収支(歳入歳出差引)は、305億7百万円の黒字であり、これから繰越事業の財源として翌年度へ繰越すべき財源45億5千6百万円を差引いた実質収支は259億5千万円の黒字で、前年度と比べて5億円減少した。

イ 実質収支をみると、145の全団体が黒字となった。

### (2) 単年度収支

ア 単年度収支は前年度と比べ5億9千9百万円減少し、4億3千9百万円の赤字となった。

イ 実質単年度収支は、前年度と比べて2億3百万円減少したが、72億7千7百万円の黒字となった。

なお、実質単年度収支の黒字要素である財政調整基金への積立金は85億7千1百万円で前年度と比べて4億2千9百万円増加し、同じく黒字要素である地方債の任意の繰上償還金は61億9千8百万円で前年度と比べて15億4千9百万円増加した。また、赤字要素である財政調整基金の取崩し額は70億5千3百万円で前年度と比べて15億8千2百万円増加した。